

第4回常任理事会報告

日 時 令和4年12月20日（火）午後3時～同4時30分
オンライン（Zoom）開催

出席者 <会 長> 住友雅人
<副 会 長> 松村英雄、川口陽子
<総務理事> 小林隆太郎
<常任理事> 尾松素樹、津田勝則、石井信之、弘中祥司
井上富雄、鄭 漢忠、天野敦雄、新谷誠康
小方頼昌、水口俊介、秋山仁志、細川隆司

※【来館出席】住友会長、松村副会長、川口副会長、小林総務理事、石井常任理事

[議長 小林総務理事]

1. 開 会

松村副会長から、開会の辞。

2. 挨拶

住友会長から、挨拶がなされた。

3. 報 告

1) 会務報告

(1) 一般会務報告

小林総務理事から、一般会務報告（令和4年4月26日～同12月19日）
について資料に基づき報告。

(2) 専門・認定分科会への情報提供

小林総務理事から、前回常任理事会（令和4年4月26日）以降の情報提供
項目16件について資料に基づき報告。

(3) 役員派遣

小林総務理事から、54件の役員派遣について資料に基づき報告。

2) 会計現況報告

津田常任理事から、次の資料に基づき報告。

□学会会計収支計算書（令和4年4月1日～同11月30日）

3) 第25回日本歯科医学会学術大会報告

川口副会長から、第25回日本歯科医学会学術大会報告（令和4年4月26日～同12月19日）について資料に基づき報告。

4) 理事・評議員等の変更について

小林総務理事から標記について、以下のとおり報告。

役 職	新	旧	所 属
理 事	都留寛治	早川 徹	日本歯科理工学会
評 議 員	谷本安浩	服部雅之	
予備評議員	新谷明一	都留寛治	
常任理事	細川隆司	宮崎 隆	日本口腔インプラント学会
評 議 員	渡沼敏夫	細川隆司	
予備評議員	近藤尚知	阪本貴司	
理 事	依田哲也	鱒見進一	日本顎関節学会
評 議 員	岡本俊宏	依田哲也	
学術研究委員会委員	松本卓也	二瓶智太郎	日本歯科理工学会

※日本歯科理工学会理事・評議員等の就任時期は令和4年5月21日

※日本口腔インプラント学会の理事等の就任時期は令和4年8月10日

※日本顎関節学会の理事・評議員の就任時期は令和4年9月28日

※日本歯科理工学会の学術研究委員会委員の就任時期は令和4年10月17日

- 5) 日本歯科医学会役員の仕事分担の変更について
小林総務理事から、利益相反委員会担当役員は、鱒見理事から依田理事へ交代した旨報告。
- 6) 第 38 回「歯科医学を中心とした総合的な研究を推進する集い」について
尾松常任理事から、標記についてポスターおよび当日抄録に基づき報告。
- 7) 新歯科医療機器・歯科医療技術産業ビジョン（令和 4 年版）について
尾松常任理事から、標記について冊子案に基づき報告。
- 8) 新歯科医療提供検討委員会フォーラムについて
小林総務理事から、令和 5 年 2 月 27 日（月）15 時から開催予定の新歯科医療提供検討委員会フォーラムについて実施概要案に基づき報告。
- 9) 日本歯科医師会からの医療技術評価提案に係る要望項目について
小林総務理事から、標記について、「見直しが必要な既存技術」28 項目、「将来保険導入すべき新規技術」35 項目が提案された。今回は優先度が付されており、12 月 16 日に各分科会に検討依頼文書を送付した旨報告。
なお、優先度については、開業歯科医師の考え方として大いに尊重すべきであるが、時間的制約もあることから、必ずしも令和 6 年度診療報酬改定に向けた提案書の作成を義務付けるものではないことを確認。

4. 議 題

- 1) 日本歯科医学会専門分科会資格更新審査について
川口副会長から、標記について、第 5 回専門・認定分科会資格審査委員会（10 月 31 日開催）において、令和 4 年 4 月 1 日に施行した日本歯科医学会専門分科会資格更新取扱い内規に基づき、23 専門分科会の資格更新審査を行った。その結果、更新条件を満たしていると判断したのは 12 学会、更新条件を満たしているが付帯事項付とするのは 10 学会、更新条件を満たさず更新不可と判断したのは 2 学会（日本歯科医史学会、日本顎関節学会）となった旨説明があり、全会これを了承。

1 月 31 日開催予定の第 4 回理事会に、今回の審議結果に基づく資格更新の

可否を議題に上げ、承認された後、更新不可と判断した 2 学会に対して条件整備の勧告をすることを確認。

2) 日本歯科医学会専門分科会資格更新取扱い内規の一部改正について

川口副会長から、標記について、(専門分科会の資格喪失)の条項に「専門分科会の資格を取り消された場合、認定分科会の資格更新条件を満たしていれば、学会理事会の議を経て、評議員会において認定分科会に登録されるものとする」との条文を追加し、令和 5 年 4 月 1 日から施行する改正案について諮られ、全会これを了承。第 4 回理事会に上程することを確認。

3) 令和 5 年度専門分科会助成金等の配分について

小林総務理事から、標記について、配分基準に則り、令和 4 年 9 月末の会員数をもとに算出した専門分科会への助成金等について諮られ、前年度に比べ、日本口腔外科学会が会員数増により増額したことを確認のうえで、全会これを了承。第 4 回理事会に上程することを確認。

4) 学会のあり方検討協議会答申の取り扱いについて

松村副会長から、標記について、資料に基づき説明後、The Japanese Dental Science Review (JDSR) 発行団体の表示を、日本歯科医師会と日本歯科医学会の併記に変更することについて諮られ、全会これを了承。第 4 回理事会に上程し、承認が得られれば、日歯へ提案することを確認。

5) 顕彰審議会答申の取り扱いについて

小林総務理事から、今年度より、日本歯科医学会会長賞授賞基準の第 3 条の各項に『日本歯科医学会の活動に多大な貢献をし』という文言が入ったことを確認したうえで、顕彰審議会からの答申書を踏まえ、下記 7 名(研究部門 3 名、教育部門 3 名、地域歯科医療部門 1 名)を学会会長賞授賞者とするについて諮られ、全会これを了承。第 4 回理事会の審議を経て正式に授章者として決定する旨確認。

<研究部門>

興地隆史 (東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科教授)

佐々木啓一 (東北大学理事・副学長)

山下喜久（九州大学大学院歯学研究院教授）

<教育部門>

一戸達也（東京歯科大学学長）

大浦清（大阪歯科大学名誉教授）

羽村章（日本歯科大学生命歯学部教授）

<地域歯科医療部門>

西郷巖（神奈川県歯科医師会会員）

6) コンプライアンス調査・普及委員会答申の取り扱いについて

小林総務理事から、標記について諮られ、歯科医育機関（歯科大学、歯科衛生士学校、歯科技工士学校等）へ本答申書を送付し、カリキュラム作成の際に参考とされるよう広く周知することについて諮られ、全会これを了承。第4回理事会に上程することを確認。

7) 令和5年度日本歯科医学会事業計画（活動計画）について

小林総務理事から、標記について資料に基づき諮られ、本年度との変更点は「第25回日本歯科医学会学術大会の検討」を「第25回日本歯科医学会学術大会の準備」の1箇所、それ以外の事業は全て継続することを確認したうえで、原案どおり了承。第4回理事会の議を経て、2月24日開催予定の第109回評議員会に議案上程することを確認。

8) 令和5年度学会会計収支予算について

津田常任理事から、次の資料に基づき諮られ、原案どおり了承。第109回評議員会の「報告事項」として上げることを確認。

□令和5年度 学会会計収支予算案

9) 令和5年度第25回日本歯科医学会学術大会会計収支予算

津田常任理事から、次の資料に基づき諮られ、原案どおり了承。第109回評議員会の「報告事項」として上げることを確認。

□令和5年度 第25回日本歯科医学会学術大会会計収支予算案

1 0) 第 109 回評議員会の運営について

小林総務理事から、標記について、令和 5 年 2 月 24 日（金）午後 2 時より開催し、オンライン開催とすることについて諮られ、全会これを了承。

また、学会会長賞授賞式についてもオンライン形式で執り行うことを確認。

1 1) 令和 5 年度諸会議開催予定について

小林総務理事から、標記について、資料に基づき諮られ、全会これを了承。

1 2) 第 110 回臨時評議員会の開催について

小林総務理事から、標記について、令和 5 年 6 月 2 日（金）14 時より開催し、「日本歯科医学会役員（学会会長）選任の件」を議案として上程することについて諮られ、全会これを了承。会議は対面形式で行うが、候補者が 1 名で投票行動がない場合はオンライン開催とすることを確認。

1 3) 日本歯科医学会役員（学会会長）選挙の公示について

小林総務理事から、3 月 31 日付の標記公示について、資料に基づき諮られ、選挙に係るスケジュールを確認したうえで、全会これを了承。

1 4) その他

次回、1 月 31 日（火）開催の第 5 回常任理事会の開催時刻について、14 時から 15 時に変更する旨諮られ、全会これを了承。

5. 閉 会

川口副会長から、閉会の辞。